



koryo 陵

雲 High School

〒031-0011 青森県八戸市田向三丁目2番6号/電話 0178-44-3866/FAX 0178-43-9077

<https://kouryo-high-school.com> /Eメール [kouryo@chibagakuen.ac.jp](mailto:kouryo@chibagakuen.ac.jp)

## 交通安全推進活動で表彰

### 自転車ヘルメット着用推進および呼び掛け評価



喜びを全校生徒に伝えようと改めて地域社会への貢献を掲げ、今後も地域の方々の見本になるべく行動していくと述べた。

## 校長講話

1月20日(月)1時間目、3年生を対象に校長講話を行った。校長は、身の回りで起きたことを交えながら、分かりやすく卒業に向けての心構えについて語り、朝礼や終業式などでよく問いかけていた「時間・お金・情報で大事なものはどれか」の答えとなる「時間」について話された。高校生生活があとという間だったという校長先生の言葉に多くの生徒が頷いた。さらに、これから社会に出ると答えのない世界(社会)となる。矛盾だらけの世界とどう向き合うか。自分から情報を得ることが大事であることを、衆議院の解散や年金、投資を例に出し、生徒へ投げかけた。現段階の生徒にとっては難しいと感じる内容もあったが、社会に出たときにこの言葉の意味を身を持って体験するに違いない。また、入学式に述べた「どういう高校生になりたいか」を振り返ってほしいと続けた。そのうえで、この高校に入って良かったと思えるような過ごし方を残りの学校生活で送ってほしいと話を終えた。講話を聞いた林嘉恵さん(長者中学校出身)は、「校長先生の話の通りあつという間に時間が経ちました。自分の考え方や価値観も変化し、特にこの3年で日本語の能力が



成長したと思います」と笑顔で話してくれた。県外生の富田優輝さん(飯能市立原市場中学校出身)は、「私は、『時間・お金・情報』で大事なものはお金だと考えています。生活するため、人生をより豊かにするには必要なものだと思います。小学校のときから休まずに学校に行っています。高校でも怪我で手術したとき以外は休まずに登校しました。勉強は苦手ですが、社会に出てこれだけは続けたいです。自分にできることを武器に、土曜関係の仕事に就けるよう頑張りたいです。そして、自分の人生をより豊かにしていきたいです」と抱負を述べた。

## 異文化体験



1月22日(木)、学校設定教科・現代を生きるI「人間と文化」の授業の中で2年生が手食文化を体験した。生徒たちは、事前に手食で食べている国のことを調べたり、使う手、指の意味を勉強してから、実際に手でカレーを食べることに挑戦した。食べる前に手を洗ったものの、カレーを手で食べることにやはり抵抗があったのか、周りの様子を見ながら恐る恐る食べた生徒たち。しかし、一人が食べ始めると一斉に挑戦。指先から感じる熱さや硬さなど「手」でなければ味わえない感触を確かめていた。手で食べることによって、改めて自分たちの国の食文化を見つめ直すきっかけになったようだ。

## 冬のスポーツをエンジョイ



1月29日(木)、テクノルアイスパーク新井田にてスケート教室を行った。それぞれが自由滑走をし体が温まったところで、毎年恒例の教員チーム対各学年のアイスホッケー対決を楽しんだ。生徒たちは、アイスホッケーをしたり、学年を超えて滑り方を教え合ったりしながら交流を深めた。最初は補助器具を使い滑っていた生徒も、スケート教室が終わるころには級友と手を繋ぎ、滑っている姿が見られ、氷都八戸ならではのスポーツを満喫した。



## 部活動スポンサー契約締結



1月22日(木)、サッカー部と太鼓部を対象としたスポンサー契約式が行われた。今回、企業と高校の部活動をつなぐスポンサーマッチングサービスを展開している、株式会社ネオキャリア様を仲介役として、株式会社食品工業様がサッカー・太鼓部のスポンサー企業として契約していただくことが決定した。当日は、食品工業副社長の瀧本様とネオキャリアの西野様が来校し、理事長・校長・部活動顧問同席の中、契約を交わした。その後、体育館にて太鼓部が演奏を披露し、サッカー部が練習風景を公開した。最後に両部員からお礼の言葉が述べられた。今後は、部活動の遠征費や備品購入費等の金銭的支援に加え、進路・キャリア支援を目的とした交流も行う予定である。今回のスポンサー契約によりサッカー部と太鼓部のさらなる活躍が期待される。これからも部員だけでなく周囲に応援される人・学校を目指して「チーム向陵」として頑張っていく。

## 様へ 食品工業 司 よろしくお願いいたします





## 2年生進路ガイダンス



1月21日(水)5、6校時にキャリアアプロデュース株式会社主催で2年生進路ガイダンスが行われた。今回のガイダンスでは、株式会社小滝建設工業・山下商事株式会社・株式会社今岡興産・株式会社東横イン電建の方々をお招きし講演いただいた。生徒たちが、それぞれグループに分かれて4つの企業様を回る形で行った。講師の方々は、自身が働く職種の状況、現場の情報、また、どうやって今の仕事を選択したかなど、社会人としてはもちろん人生の先輩として、お話をしてくださった。生徒たちは、お金を稼ぐことだけではない「働くことの意義」について学んだガイダンスとなった。

また、同時開催で保護者向けの進路ガイダンスも行った。前半は進路指導部主任の小森先生から進路活動の流れや本校の指導内容の説明、後半はキャリアアプロデュースの桑名さんより、進学にかかる費用、家庭でのサポート、進路選択のポイントをお話しいただいた。

は絶対守ること」と述べた。「期限を守れない・守らない人に仕事を任せたいと思いますか」と問い、仕事において信頼関係が大事とした。また、「苦手」は誰にでもあるものとし、だからこそ「苦手」で済ませることなく、どう取り組むのかが重要とした。後半は、13分野に分かれ専門分野の方々に協力いただき職業別体験型授業に参加した。

【スポーツ】スポーツ科学について  
◎八戸学院大学／八戸学院大学短期大学部  
1年 松川 颯(青森市立旭館中学校出身)  
やはり、大学の勉強内容は難しいと感じました。握力測定で力の加減を調整できるか実験のようなものがありました。狙った力で調整するのは難しかったです。

【理美容師】トータルビューティー体験  
◎八戸理美容専門学校  
1年 石橋 ひな(三条中学校出身)  
体験は楽しかったのですが、細かい作業が多いと感じました。今のうちに勉強することが大事だと思います。就職希望であっても勉強は必要だとお聞きしたので、苦手でも頑張ろうと思います。

【幼稚園教諭】幼児の声の発達と歌遊び  
◎八戸学院大学／八戸学院大学短期大学部  
1年 向井 彩音(根城中学校出身)  
幼稚園教諭は、コミュニケーション能力が高くないと難しいと感じました。座学だけでなく実習も多いということでした。子供の目線で考えることも含め、進路決定のためには、今後勉強が必要だと感じました。講師の方は、私のちょっとした質問にも答えてくださり、より深く進路のことや、大学について理解することができました。



【自動車整備士】車について楽しく学ぼう！  
◎専門学校 花壇自動車大学校  
1年 山田 倅雅(明治中学校出身)  
私は幼い頃から自動車整備士になりたいと思っていました。中学卒業後に進学しようとも考えましたが、基礎学力をつけて進学した方がいいと助言され、現在に至ります。今日、エンジンの説明を聞きましたが、分かりやすく覚えやすかったです。好きな分野だということも関係しているのかもしれませんが、高校の勉強を大事にして夢を叶えたいです。

## 1年生進路ガイダンス

1月28日(水)、ライセンアカデミー主催の1年生進路ガイダンスが行われた。前半は全員で講師の横関信太郎さんの講演を聞いた。横関さんは、高校生のうちに身につけるべき事として「ON・OFFの区別」「お金と時間の約束を守ること」を挙げた。なかでも高校生は時間の約束が大事として「遅刻しない」とはもちろん、提出物の期限



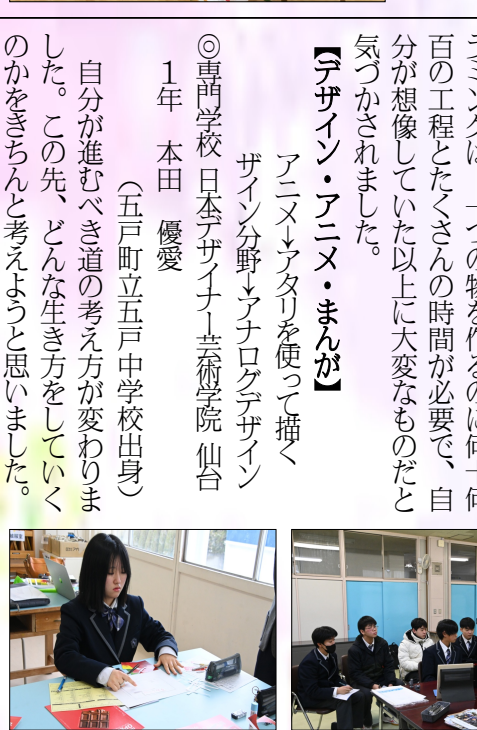
【語学】言葉で旅する世界  
『Travel The World Through Language』  
◎弘前学院大学  
1年 小出 歩実(白銀中学校出身)  
以前から語学に興味がありましたが、講師の方のお話を聞いて一層外国語を勉強したいと思いました。講師の方が外国人ということもあり、英語で話せる所は話し、時折、日本語を混ぜながら会話すること自体が非常に楽しかったです。進路の参考になりましたし、進学を意識した生活を心掛けたいと思いました。

【電子・電気】はじめての電気配線体験  
◎青森県立青森高等技術専門学校  
1年 菊地 星風(階上町立階上中学校出身)  
以前から電気の分野に興味がありましたが、分かります。熱のこもった説明で非常に興味をそそられました。手作業での体験はワクワクし、学んでいるときずっと楽しかったです。進路選択の幅が広がりました。

【建築】大工の技能について  
◎青森県立弘前高等技術専門学校  
1年 佐々木 清良(長者中学校出身)  
大工の現状は、高齢化と若手不足により深刻な人手不足で、特に若い人が少ないそうです。今回、木材を切ったり平らにしたりしましたが、普段やることのないので、建築の仕事を知る良い機会となりました。

【ゲーム・コンピュータ】  
ビジュアルプログラミング  
言語で簡単なゲーム作成  
◎北上コンピュータ・アカデミー  
1年 丹野 周杜(第二中学校出身)  
プログラミングについて、小学校のときから興味があり参加しました。プログラミングは、一つの物を作るのに何十何百の工程とたくさんの時間が必要で、自分が想像していた以上に大変なものだと気づかれました。

【デザイン・アニメ・まんが】  
アニメ・マンガを使って描く  
サイン分野・アナログデザイン  
◎専門学校 日本デザイン芸術学院 仙台  
1年 本田 優愛(五戸町立五戸中学校出身)  
自分が進むべき道の考え方が変わりました。この先、どんな生き方をしていくのかをきちんと考えようと思いました。

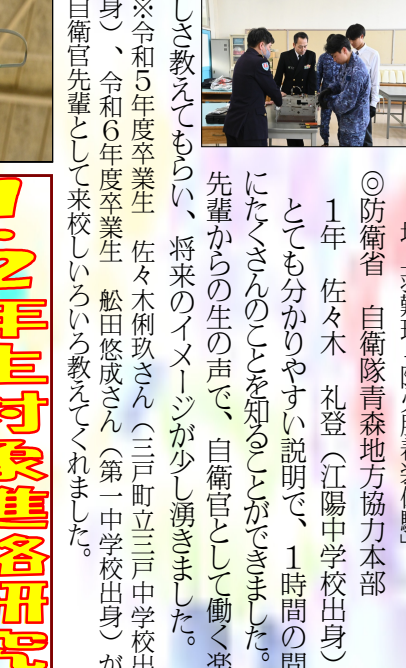


【販売・マーケティング】一万人が熱狂する〇〇フェス企画  
◎函館大学  
1年 佐々木 琢登(是川中学校出身)  
私は中学生が集まる企画を考えてみました。しかし、自分がやりたいと思っても、人を集めるにはリサーチも必要で、好きなだけではできない難しさを感じました。

【製菓・調理師】お店の味・濃厚カルボナーラ  
◎キャンパスアカター  
1年 中村 風紗(根城中学校出身)  
カルボナーラはこれまでも作ったことはありましたが、素材や調味料が違うのはもちろん作業工程のひとつでお店の味になりました。調理は時間勝負と聞いたので、普段の生活も時間を意識して過ごしたいです。ますます調理の道に進みたいと思いました。

【公務員・行政】公務員になるためのポイント  
◎ライセンアカデミー講師 横関信太郎  
1年 八幡 優菜(湊中学校出身)  
公務員の業務や公務員になるための勉強方法について細かく教えていただきました。説明も丁寧で分かりやすかったです。冗談交えながら話してくださったので楽しく学ぶことができました。今回いただいたアドバイスを実行して公務員についてもう一度考えてみようと思います。

【公務員・自衛官】海上自衛隊整備体験「セーフティワイヤー」  
地上救難班「防火服着装体験」  
◎防衛省 自衛隊青森地方協力本部  
1年 佐々木 礼登(江陽中学校出身)  
とても分かりやすい説明で、1時間の間にたくさん知ることができました。先輩からの生の声で、自衛官として働く楽しさ教えてもらい、将来のイメージが少し湧きました。令和5年度卒業生 佐々木 剛(三戸町立三戸中学校出身)、令和6年度卒業生 松田 悠成(第一中学校出身)が自衛官先輩として来校しいろいろ教えてくれました。



【1・2年生対象進路研究】  
1月28日(水)7校時、1・2年生希望者を対象とした進路ガイダンスを実施、16名が参加した。進路研究の一環として八戸工科学院、青森県立青森高等技術専門学校にご協力いただき、ドローンを飛ばしたり、電気の配線に挑戦したりと、就職に役立つ、より実践的な授業内容に触れた。

